

## 必修講習（6時間）

講習名	【必修】時代に向き合う教師力開発（主として幼小教員対象）	
	実施日時	教室
	8月2日（金） 8：50～17：00	未定
持参物	筆記用具	

### 【講習の概要】

新しい時代に対応する教員の専門性を高めるために「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見（特別支援教育に関するものを含む）」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4事項に関して、最新の知識技能を修得し、新たな教育課題への理解を深める。また、このことを通して受講者一人ひとりが、責任をもって学校に参画できる力量を高める。

### 【講習の目的】

- ・国際的な教育の動向と子どもの現状を視野に入れつつ、国の教育政策、学校教育への社会的ニーズと教職の意義、子ども観や教育観の変容を理解する。
- ・子どもの成長・発達に関する理解を深め、発達障害についての基礎的な知識を獲得し、発達上の問題のある子どもへの対処を通じてカウンセリングマインドの必要性を理解する。

### 【到達目標】

- ・社会の変化や国内外の教育政策の変容について理解した上で、自らの教職経験をふまえながら、現代社会における教職の意義、今後の課題について主体的に考える。
- ・子どもの発達についての基礎知識や最新の情報知識を獲得し、実際の職務に関連づけて理解を深める。

### 【試験方法】

（午前）筆記試験 20分、持込可 （午後）筆記試験 20分、持込可

### 【評価の観点】

- ・自己の教職生活の課題について、社会状況や教育政策の変化を踏まえつつ、自分なりに把握できているか。
- ・子どもの成長・発達についての最新知見を獲得し、現場での発達障害を含む子どもの諸問題に対処する意欲を喚起できたか。

### 【受講に際しての参考図書】

- ・埋橋孝文・矢野裕俊『子どもの貧困/不利/困難を考える』I（ミネルヴァ書房、2015年）

### 【講習全体スケジュール】

時間帯	内 容
8：50～ 9：10	受付
9：10～ 9：20	オリエンテーション【事務】
9：20～10：40	◆講義【松下】 ・世界の教育動向と国の教育政策の特徴や背景、それらをめぐる議論について概説する。
10：40～10：50	休憩
10：50～12：10	◆講義・演習【松下】 ・子ども観と教育観の変容について考察し、倫理的な仕事としての教職について理解を深める。
12：10～12：30	★試験（筆記）【松下】
12：30～13：30	昼休憩
13：30～14：50	◆講義【宇野】 ・特別支援教育に関する新たな課題と子どもの成長・発達(脳科学を含む)について概説する。
14：50～15：00	休憩
15：00～16：20	◆講義【宇野】 ・通常学級に在籍する発達障害のある幼児・児童の事例や、カウンセリングマインドを意識した対応方法を検討する。
16：20～16：40	★試験（筆記）【宇野】
16：40～17：00	事後評価アンケート記入・事務連絡等

※ 遅刻・早退は認められません。

### 【講師紹介】

担当者	プロフィール
松下 良平	教育学部教授（教育哲学、教育思想史、道徳教育論）
宇野 里砂	教育学部准教授（障害児の発達、肢体不自由児教育、LD 等教育、障害児医療、医療的ケア）